

令和6年度 鹿屋中学校の教育(グランドデザイン)
～人権教育の精神を根幹に据えた学校経営を推進する～

校訓

自主 自律 協調

学校教育目標

研究テーマ

気付き 考え 実行する生徒の育成

よりよい未来を創り上げようとする生徒の育成
～生徒と共に取り組む授業改善と学力定着を目指して～

【めざす生徒像】

- 「学校が楽しい。」と言える生徒
- 新たな目標に積極的に挑戦する生徒
- 「自分には良いところがある。」と言える生徒

【めざす学校像】

- 明るいあいさつと歌声の響く学校
- 靴と机とカバン棚が揃っている学校
- 全教育活動で生徒が主役の学校

【めざす教職員像】

- 愛情と情熱をもって接する教職員
- 資質の向上に関する研修に主体的に励む教職員
- 服務規律を守り信頼される教職員

本年度の重点課題と具体策

学力向上…主体的・対話的で深い学びの追求

「誰一人おいていかない授業」を目指して

- ① 「五つの共通実践」の徹底とタブレット活用による指導法改善(振り返りと見届け)
- ② 生徒会と連携した授業改善と評価(学びオリエンテーション等)
- ③ アウトプットを重視した家庭学習の充実(アクティブチャレンジ等)
- ④ 小中一貫教育や国際理解教育の推進(市英語教育圏推進会議や台北市龍門中との交流等)
- ⑤ 学力向上3サイクルに基づく計画的取組

人間力の向上

「鹿屋中プライド」の醸成

- ① 基本的な生活習慣の確立(時間、あいさつ、清掃など)
- ② 生徒の自治活動の推進(生徒会・学年学級専門部会・SAT+・校則検討委員会等)
- ③ 生徒が「考え、議論する」道徳の授業とSGE・SDGsの充実

体力の向上

継続的な基礎体力づくり

- ① 新学習指導要領が目指す教科体育の充実
- ② 体力テストの結果に基づいた補強運動の実施
- ③ 競技力向上と休養のバランスのとれた部活動の推進(休日の部活動の地域移行調整等)

特別支援教育の更なる充実

組織的な支援体制づくりの推進

- ① 特別支援学級、通級指導教室の整備と指導方の更なる工夫
- ② 特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制の充実
- ③ 就学指導の推進と、特別支援教員支援員や家庭、関係機関との連携

地域・郷土に開かれた学校

コミュニティスクールとしての保護者や地域との更なる連携

- ① 家庭との常時連携の充実(学びポケットの利用、電話連絡、家庭訪問等)
- ② 地域行事への積極的参加(生徒参加を促進(KOKAプロジェクト)、地域担当として参加)
- ③ 学校運営協議会を活用した課題解決(専門家・公民館長・地域学校協働活動など)

学校スローガン

誇り高き鹿屋中生 鹿屋中プライドの実現
～ 学力・体力・人間力 「大隅一」 ～